

## ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### ●安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

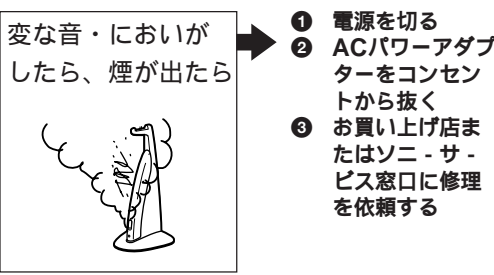
### ●定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### ●故障したら使わない



動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

### ●万一、異常が起きたら



この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

<span>⚠</span> <b>警告</b>	<b>下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。</b>
 <small>火災</small>	 <small>感電</small>

### 運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



#### この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電原因となります。



### 指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。


#### 警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

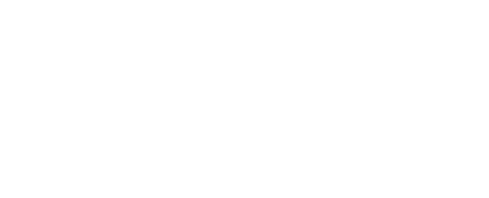
**⚠危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が発生します。

**⚠警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を指示する記号
 <small>火災</small>	 <small>感電</small>
 <small>禁止</small>	 <small>分解禁止</small>
 <small>接触禁止</small>	 <small>フラグをコンセントから抜く</small>
行為を禁止する記号	
 <small>禁止</small>	 <small>分解禁止</small>
 <small>接触禁止</small>	

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターと一緒にお持ちください。



この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

<span>⚠</span> <b>注意</b>	<b>下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</b>
--------------------------	--

### ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

### 通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



## 電池についての安全上のご注意

この機器は充電式ニカド電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

### ⚠危険

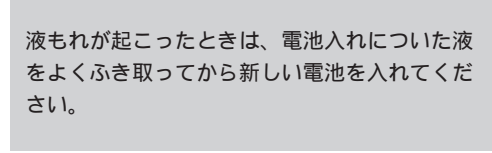
- 付属の充電電池を他の機器に使用しない。この電池はソニーコードレスステレオヘッドホンシステム専用です。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式ニカド電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

### ⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

### ⚠注意

- + と の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。



液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

## 充電式ニカド電池について

充電式ニカド電池は、リサイクルできます。不要になった充電式ニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：社団法人電池工業会 TEL: 03-3434-0261 ホームページ：http://www.baj.or.jp



<b>主な仕様</b>	
一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz 左チャンネル 2.3MHz
周波数特性	18～22,000Hz
トランスミッター	TMR-IF330R
電源	DC 9V(付属のACパワーアダプターを使用)
音声入力端子	ピンジャック/ステレオミニジャック
最大外形寸法	約106×217×110mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約125g
ヘッドホン	MDR-IF330R
電源	充電式ニカド電池 NC-AA(HJ) または、DC 1.5V(単3形乾電池×1)
質量	約180g(付属の充電式ニカド電池含む)
付属品	ACパワーアダプター(1)、接続コード(約1m、ステレオミニプラグ×1　ピンプラグ×2)(1)、充電式ニカド電池NC-AA(HJ)(1)、プラグアダプター(ステレオミニジャック　ステレオ標準プラグ)(1)、取扱説明書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)
別売りアクセサリ	
• 付属の接続コードをステレオ標準ジャックに接続したいとき	プラグアダプターPC-234S(ステレオミニジャック　ステレオ標準プラグ)
• 付属の接続コードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき	プラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャック　モノラルミニプラグ)
• 付属の接続コードをなくしてしまったとき	接続コード RK-G129(1.5m、ステレオミニプラグ×1　ピンプラグ×2)
• ステレオミニジャックのLINE OUT端子につなぎたいとき	接続コード RK-G136(1.5m、ステレオミニプラグ×1　ステレオミニプラグ×1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

### 保証書とアフターサービス

#### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

<b>ソニー株式会社</b> 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	受付時間:
●ナビダイヤル……………0570-00-3311	月～金 9:00～
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	20:00、
●携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311	土・日・祝日 9:00～
●Fax……………0466-31-2595	17:00

Sony **on**line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

## SONY

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

3-862-874-04 (1)

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。

この製品は、火災や感電の原因となることがあります。必ずお読みください。



## 準備

## 確認しましょう

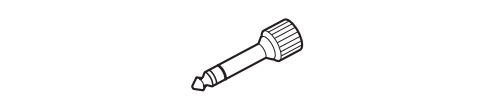
- はじめに内容物の確認をしてください。
- トランスミッター TMR-IF330R



- ACパワーアダプター



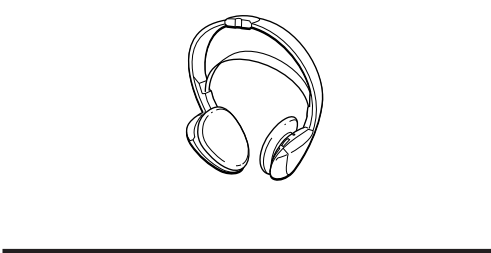
- プラグアダプター (ステレオミニプラグ ステレオ標準ジャック)



- 充電式ニカド電池 NC-AA (HJ)



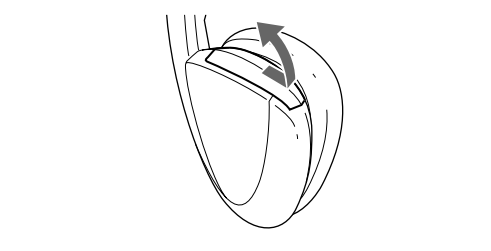
- ヘッドホン MDR-IF330R



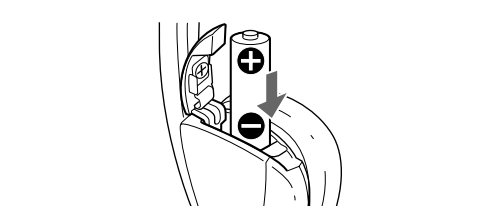
## 充電式ニカド電池を充電する。

ヘッドホンをトランスミッターにかけて充電します。

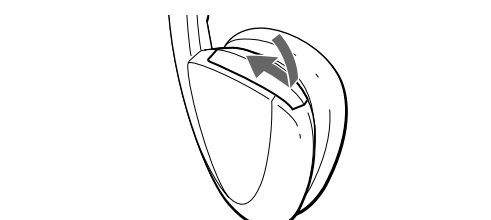
1 左ハウジングの上部にある電池のふたを開ける。



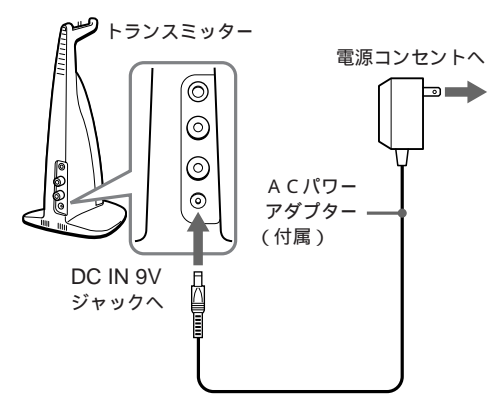
2 付属の充電式ニカド電池NC-AA(HJ)を入れる。付属の充電電池以外は使用しないでください。



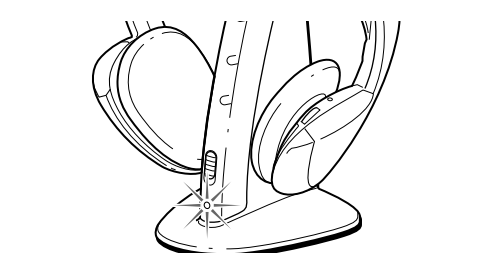
3 電池のふたを閉じる。



4 トランスミッターに電源をつなぐ。



5 ヘッドホンとトランスミッターの充電用接点が接触するようにヘッドホンをトランスミッターの上にかける。充電ランプが点灯します。



- ご注意**
- 充電中はトランスミッターの電源が自動的にOFFになります。
  - 本機は、安全のため付属の充電式電池NC-AA(HJ)のみ充電できるようになっています。他の同じ形の電池や充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。
  - 付属の充電電池NC-AA(HJ)を他の機器に使用しないでください。この電池は、ソニーコードレスステレオヘッドホンシステム専用です。

充電ランプが点灯しない場合はトランスミッター上部とヘッドホンの充電用接点が正しく接触しているか、ヘッドホンの位置を確認してください。

ヘッドホンをお使いになったあと再充電するには本機の充電は少しずつ行われますので、ヘッドホンをトランスミッターの上に掛けたままにしておいても、充電のしすぎによって故障することはありません。ヘッドホンを使わないときにはいつもトランスミッターの上に掛けておくことをお勧めします。充電中はトランスミッターの出力は自動的に停止します。

充電時間の目安と使用可能時間	
充電時間	使用可能時間*
約1時間	約1時間30分
約24時間**	約30時間

\* 1kHz,1mW+1mW出力時

\*\* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

## 乾電池(別売り)を使うとき

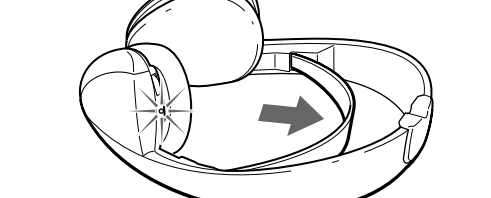
本機は別売りの単3形乾電池でもご使用になれます。「ヘッドホンを充電する」の手順1から3の方法で乾電池を本機に入れます。乾電池を入れた状態では充電機能はご使用になれません。

乾電池の持続時間*	
乾電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池 LR6(SG)	約100時間
ソニーマンガン乾電池 R6P/SUM-3(SR)	約50時間

\* 1kHz,1mW+1mW出力時

## 電池の残りを確認するには

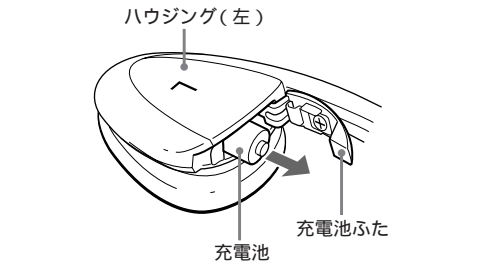
フリーアジャストバンドを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。電源ランプが暗い、または音が歪んだり雑音が多くなったときは、充電するか、乾電池でお使いください。



- ご注意**
- 充電式ニカド電池を十分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。この充電式電池は市販されていませんのでお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

充電電池を取り出すには

- ハウジングを水平にして電池ふたを開ける。
- 下図を参照して充電電池を取り出す。

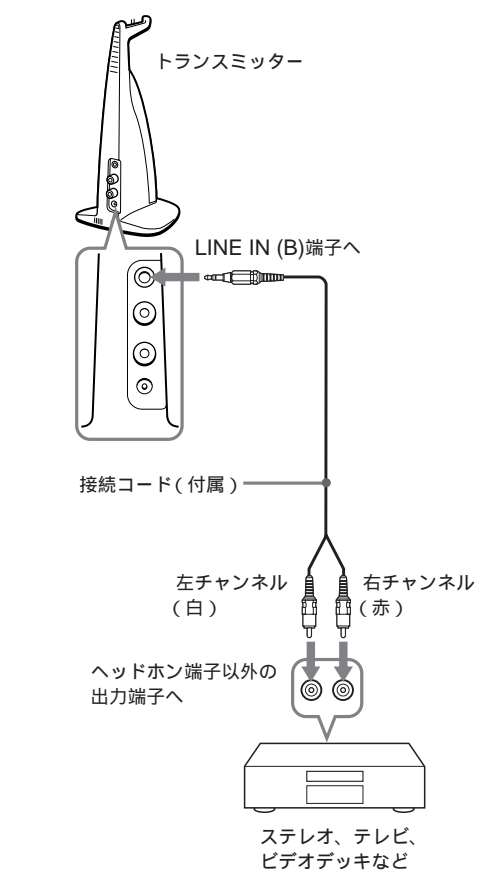


## トランスミッターを設置する

トランスミッターの2種類の入力端子は、それぞれ専用の入力端子です。PHONES IN (A)はヘッドホン端子に、LINE IN (B)はLINE OUT端子につないで使います。

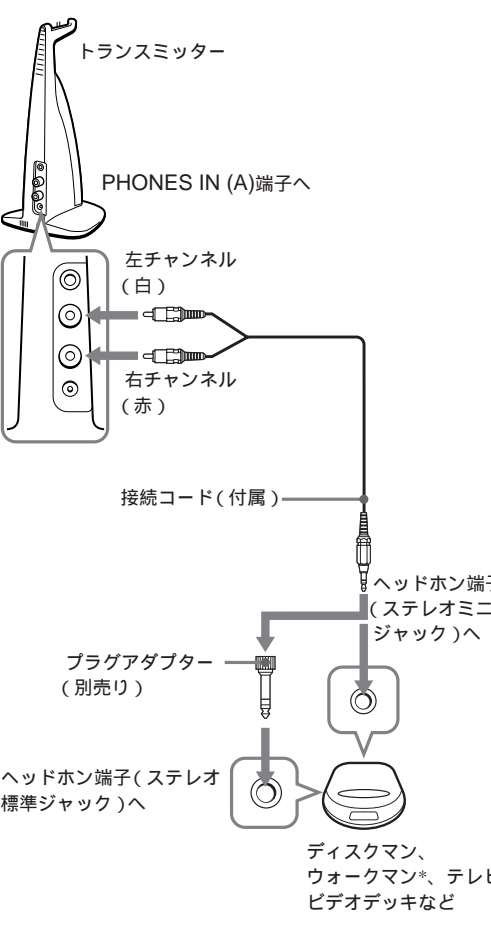
1 トランスミッターをAV機器につなぐ。AV機器の出力端子の種類に合わせて①または②を選んでください。

- ① ヘッドホン端子以外の出力端子につなぐ場合は、必ずトランスミッターのLINE IN (B)端子につなぐ



- ご注意**
- お持ちのAV機器のLINE OUT端子がステレオミニジャックのときは、別売りの接続コードRK-G136を使って、トランスミッターのLINE IN (B)端子につないでください。AV機器のLINE OUT端子とトランスミッターのPHONES IN (A)をつなぐと音が小さくなったり、こもった音になります。

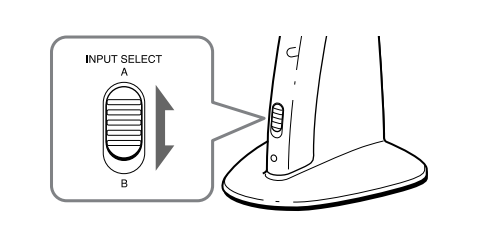
- ② ヘッドホン端子につなぐ場合は、必ずトランスミッターのPHONES IN (A)端子につなぐ



- ご注意**
- お手持ちのAV機器のヘッドホン端子とトランスミッターのLINE IN (B)端子をつなぐと音がひずむことがあります

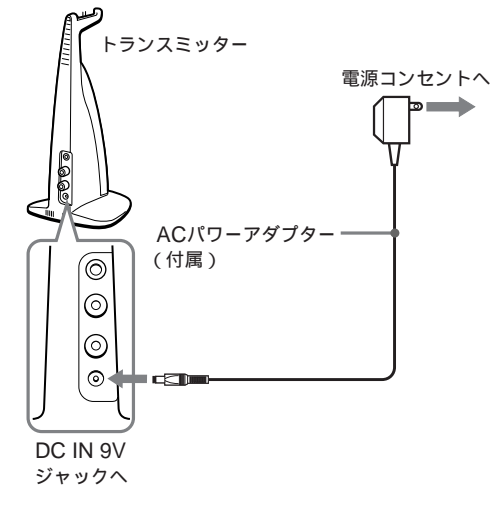
\* ウォークマンはソニー（株）の登録商標です。

2種類のAV機器にトランスミッターをつないだときはPHONES IN (A)とLINE IN (B)を2種類のAV機器につないで同時に使うことができます。PHONES IN (A)につないだAV機器の音を聞くときはインプットセクターをAの位置に、LINE IN (B)につないだAV機器の音を聞くときはBの位置に合わせます。



- ご注意**
- 2種類のAV機器を同時につなぐときは、付属の接続コードと別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を使ってください。

3 トランスミッターを電源につなぐ。



- ご注意**
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。



- 接続コードをイヤホン端子（モノラルミニジャック）に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS（ステレオミニジャック モノラルミニプラグ）を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

## 使いかた

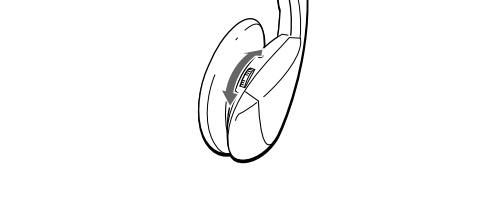
## 音声を聞く

1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。つないだAV機器から音声信号が入力されるとトランスミッターの電源が自動的に入り、赤外線発光部が点灯します。ただし、トランスミッターが充電中のときは、赤外線発光部は点灯しませんのでご注意ください。トランスミッターをヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器のボリュームを、音がひずまない範囲なるべく大きくしてください。

2 ヘッドホンをかける。電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。



3 音量を調節する。



ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます— オートパワーオン/オフ機能
お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にしないでください。電源が入ったままになります。



ヘッドホンから音が聞こえないときは— ミュート機能
赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増えると、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

約5分以上音声信号が入力されないときトランスミッターの電源が自動的に切れます。

お使いになったあとはヘッドホンをはずしてから、トランスミッターの電源を切ります。（ACパワーアダプターをはずす場合、ヘッドホンをはずす前にトランスミッターの電源を切ると、雑音が入ることがあります。）

- ご注意**
- トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。

## その他

## 使用上のご注意

取り扱いについて

トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

- 直射日光が当たる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所（なるべく5～35の範囲でご使用ください。）
- 風呂場など、湿気の多い所

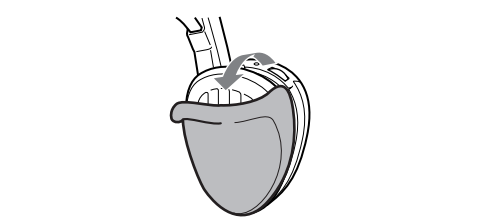
長い間ご使用にならないときは

- ヘッドホンからバッテリーを取り出しておいてください。液もれやさびつきの原因となります。
- ACパワーアダプターをコンセントから抜いておいてください。

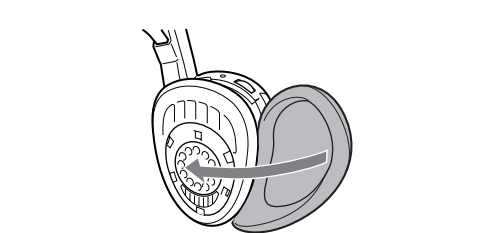
## イヤークッションを交換するには

イヤークッションは消耗品です。汚れたり破損した場合は、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせください。下図を参照してイヤークッションを交換してください。

1 古くなったイヤークッションをはずす。



2 イヤークッションをドライバーユニットの外周に合わせるようにはめ込む。



## 故障とお考えになる前に

音が出ない。音がこもる。

- トランスミッターの電源を入れてから、ヘッドホンをつける。
- トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- インプットセクターの位置が正しいか確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ミュート機能が働いている。
  - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
  - なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
  - トランスミッターの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
  - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- トランスミッターのPHONES IN (A)端子をAV機器のLINE OUT端子につなぐと、音が小さくなったり、音がこもります。「トランスミッターを設置する」をご覧になって、トランスミッターのLINE IN (B)端子とAV機器のLINE OUT端子をつないでください。

音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
  - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- AV機器のヘッドホン端子をトランスミッターのLINE IN (B)端子につないでいる場合、AV機器の音量を上げると音がひずみます。「トランスミッターを設置する」をご覧になって、AV機器のヘッドホン端子とトランスミッターのPHONES IN (A)端子をつないでください。

雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。（トランスミッターから離れたにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。）
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
  - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- すでに本機以外のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。
- 他のトランスミッターの電源を切るか、赤外線の届かない所へ移動する。

充電できない

- 充電ランプが点灯しているか確認する。ヘッドホンがトランスミッターに正しい位置に掛けるられているか確認する。
- 乾電池が入っている。
  - 付属の充電式ニカド電池を入れる。
- 付属以外の充電式ニカド電池が入っている。
  - 付属の充電式ニカド電池を入れる。